

JICA東北

比国復興PJを書籍化

協力の東松島市に寄贈

独立行政法人国際協力機構（JICA）東北支部は、フィリピンを襲った巨大台風ヨランダの被災地復興支援プロジェクト（PJ）に協力した東松島市に活動をまとめた書籍を先日、寄贈した。また東日本大震災からの復興を収録した映像教材DVDも手渡した。

巨大台風は平成25年11月に発生し、死者行方不明者は約8千人に上った。JICAは台風上陸直後から緊急援助を行ったほか、同PJを展開し、被災者の生計回復や災害に強いまちづくりへの支援を行ってきた。

東日本大震災で甚大な被害を受けた東松島市も復興の教訓、経験を伝えるべく同PJに

協力。国内支援委員として市職員2人を現地派遣し、復興経験の共有や助言を通じて災害に強い地域づくりに貢献してきた。

JICAは同市の功績に対し、昨年9月に理事長表彰を授与。今回は、PJの歩みをまとめた

本の内容や取り組みの成果を発表する平林さん

た書籍「屋根もない、家もない、でも希望を胸に」フィリピン巨大台風ヨランダからの復興（佐伯出版）を発行し、震災復興の取り組みをまとめたDVDと一緒に同市に寄贈した。市役所であった寄贈式では、本を執筆した



JICA専門員の平林淳利さんが内容を説明し、東北支部の須藤勝義支部長が「本には被災したフィリピンの復興の様子などが収められ、DVDは東松島市の復興の取り組みを凝縮した。広く活用してほしい」と語った。

湿美蔵市長は「活動がこのような形で評価されてうれしい。本は市の公共施設などに置く」と話した。DVDは野蒜の震災復興伝承館などで活用する。書籍は一般販売されており、全国の書店などで購入可能。A5版204ページ、税抜き1500円。

市の公共施設などに置く」と話した。DVDは野蒜の震災復興伝承館などで活用する。書籍は一般販売されており、全国の書店などで購入可能。A5版204ページ、税抜き1500円。